■堀野正雄　　**写真家。日本における近代写真の成立に重要な貢献をするも，戦後，活動を断念したため忘れられた。**
ほりのまさお
韓国反日暴動1907＝　　東京市京橋区で，質店を兼ねながら美術印刷業を営む寛次郎と千代の三男に生まれる。

明治天皇没・1912＝ 5歳：
大正政変・・1913＝ 6歳：築地尋常小学校に入学。

民本主義・・1916＝ **9歳：**

ﾍﾞﾙｻｲﾕ条約・1919＝12歳：卒業し，芝中学校に入学。
校長から左翼的な思想の影響を受ける一方，**_写真に興味を持ち始め，撮影や暗室作業も熱心にこなす。**
原敬首相暗殺1921＝14歳：

関東大震災・1923＝16歳：***大地震で破壊されたニコライ堂などを美的対象として撮影し販売，写真家としての意識が明確化，**
護憲三派圧勝1924＝17歳：***高田舞踊団の新帰朝第一回舞踊公演を，舞台照明のみでの撮影に成功。主宰者の高田雅夫と知り合い，以降，公演のたびに撮影。東京高等工業学校(のち東京工業大学)応用化学科に入学すると，同校の先輩で築地小劇場の舞台効果担当の和田精の紹介で，舞台撮影を行い，小山内薫，村山知義らの知遇を得る。**
治安維持法・1925**＝18歳：**この頃から"新興芸術"運動が沸騰，とくに演劇の世界の身体の動きの表現が，写真技術の可能性を開く。
金融恐慌・・1927＝20歳：東京高等工業学校を卒業。{フォトタイムス}{新興芸術}などに，写真，映画，演劇について論文を発表し始め，小山内薫の推薦で，{フォトタイムス}により**_初の個展「堀野正雄個人演劇写真展覧会」を開催。**
共産党事件・1928＝21歳：松竹キネマ蒲田撮影所普通写真部に入社。俳優山内光(岡田桑三)と出会い村山知義所有アトリエに同居。
世界恐慌・・1929＝22歳：ドイツ・シュトゥットガルトで「Film und Foto」が開催される。村山知義らと**_{国際光画協会}創立に参加し，写真家としての途を目指す。**
海軍軍縮条約1930＝23歳：東京市外上落合に{アトリエ堀野}を開設。**_それぞれにテーマを持って，3回続けて個展を開催，それまでに発表した写真，映画，演劇について論文をまとめて「現代写真芸術論」を出版。木村専一らと{新興写真研究会}を結成，機関誌{新興写真研究}の表紙写真を毎号担当し，論文も毎号寄稿して，その中核になるも，3号で終わる。{フォトタイムス}に「新しきカメラの途」を連載。板垣鷹穂著「優秀船の芸術社会学的分析」の写真を担当し，翌年にかけて，板垣鷹穂と共同で機械的建造物の撮影実験プロジェクトを実施。**
満州事変・・1931＝24歳：国際光画協会が「Film und Foto」の国際巡回展を「独逸国際移動写真展」として開催。論文「芸術写真から実用写真へ」「写真に於ける性格描写覚え書き」「新しい写真家」を発表。**_板垣鷹穂の編集で，グラフモンタージュの嚆矢「大東京の性格」を，続いて，村山知義の監修で「首都貫流～隅田川アルバム」を発表。**
五一五事件・1932＝25歳：論文「エリッヒ・サロモン博士の写真」を発表。{光画}に「グラフ・モンタージュの実際」を連載し，{犯罪科学}に，各界著名人のサポートを得て，グラフ・モンタージュ作品を次々発表。**_板垣鷹穂との実験プロジェクトの成果を写真集「カメラ・眼×鉄・構成」として出版，時代を象徴するものとなるが，自らは単なる通過点に過ぎないとした。ライカの小型カメラを使い始め，活動の場が一気に広がり，**
国際連盟脱退1933＝26歳：{婦人画報}の嘱託受けて以後，フリーカメラマンとして{婦人倶楽部}{主婦之友}などの雑誌に，様々な視点からの女性の新しい姿を発表。同時に{LIFE}などの海外のグラフ雑誌にも配信した写真が掲載される。
帝人疑獄事件1934**＝27歳：**{アトリエ堀野}を赤坂に移転。**_「第五回個展」で，報道写真家として歩むことを宣言，名取洋之助主宰の{日本工房}の仕事を請け負い，同工房編集・出版の対外文化宣伝グラフ雑誌{NIPPON}に写真を寄稿。**
二二六事件・1936＝29歳：銀座に新築された森永キャンデー・ストアに，今泉武治らと，日本で初めての写真壁画を制作。
日中戦争始・1937＝30歳：
健保+総動員 1938＝31歳：「正しい露出と写し方」「女性美の写し方」を出版。**_朝鮮総督府鉄道局の依頼で朝鮮全土の撮影，続いて満州各地，中国大陸各地を撮影取材して行く。**
第二次大戦始1939＝32歳：「私の写真術」を出版。
大政翼賛会・1940＝33歳：「ライカの第一歩」「ライカの第二歩」を出版。**_上海陸軍報道部嘱託となり，**
日米開戦・・1941＝34歳：
・・・・・・1942＝35歳：日本軍による中国への文化宣伝を目的とする写真を使った移動式の写真壁画などの製作指導を行う。
創価学会検挙1943**＝36歳：**
敗戦・・・・1945＝38歳：***上海で終戦を迎え，撮影してきた数万枚のネガを焼却。中国国民党政府が企画したグラフ雑誌{改造画報}のカメラマンに留用されるも，同誌は発禁となり，**
新憲法公布・1946＝39歳：**_中国共産党によって追放され引き揚げるが，国策プロパガンダに加担した者とみなされ，以後，写真家として活動することは叶わなくなった。**
妻が開店していた銀座・資生堂隣のDP店の仕事を手伝い，
極東裁判決・1948＝41歳：「吾等の写真術」を出版。
三大事件・・1949＝42歳：**_株式会社ミニカム研究所を設立し，フラッシュ・ガンを製作，**
独立回復・・1951＝44歳：
ﾒｰﾃﾞｰ事件・ 1952**＝45歳：****_写真用ストロボを製品化，**
安保闘争・・1960＝53歳：
ｲﾀｲﾀｲ病始・1961**＝54歳：**

大阪万博・・1970**＝63歳：**

石油ショック1973＝66歳：
以後，写真用大型ストロボ，空港滑走路の進入灯，巨大船舶の出入りを制御する主要港湾の航行管制灯など，ストロボを使った幅広い閃光装置の研究・開発・製造を行うなど，**_ストロボメーカーとして，独自の位置を築き，**

革新大敗北・1979**＝72歳：**

中曽根内閣・1982＝75歳：

ﾘｸﾙｰﾄ事件・ 1988**＝81歳：**
昭和天皇没・1989＝82歳：昭和天駐崩御の際，ミニカム社の製品群が大手新聞社に採用され，写真報道に活用される。
55年体制終・1993＝86歳：陸軍報道部の嘱託として上海へ赴任する際に，東京に残したプリントをもとに編集・構成した写真集「満州開拓団の回想その周辺50年前の軌跡」を出版。
ｵｳﾑｻﾘﾝ事件・1995＝88歳：**_東京都写真美術館の写真展「日本近代写真の成立と展開」に作品が六点出品され，**
金融破綻・・1997**＝90歳：*岩波「日本の写真家12堀野正雄」が出版されてまもなく，**
・・・・・・1998＝91歳：心不全で，**_没した。**

「幻のモダニスト」～写真家堀野正雄の世界～